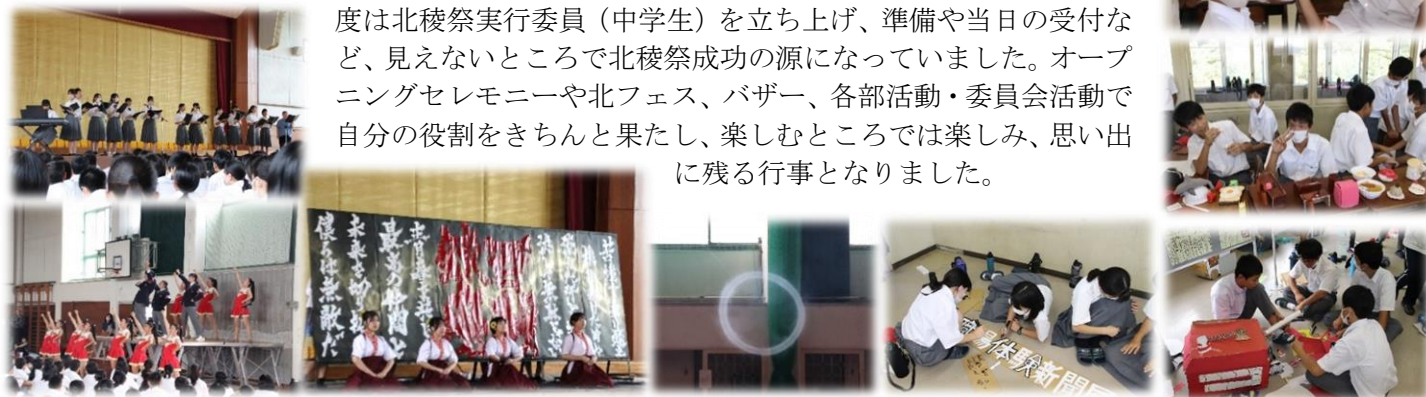


北稜祭大いに盛り上がりました!

今年度は、感染症の制限もなく通常の北稜祭の開催となりました。多くの保護者の方にご参加いただき本当にありがとうございました。さて、2 年生は、職場体験学習で学んだことを新聞を通じて、お客様に見ていただきました。準備期間では、どのクラスも班活動を中心として、「どうすれば見に来てくれるのか?」「どんな展示にしようか?」と意見を出し合っていました。職場体験新聞で誰のが見やすかったのかアンケートを取ったり、見に来てくれた方へ今後の夢を書いてもらったりしていました。数多くの工夫が見られた内容となっていました。また、今年度は北稜祭実行委員(中学生)を立ち上げ、準備や当日の受付など、見えないところで北稜祭成功の源になっていました。オープニングセレモニーや北フェス、バザー、各部活動・委員会活動で自分の役割をきちんと果たし、楽しむところでは楽しみ、思い出に残る行事となりました。



職場体験学習と今後のクラスについて話し合いました!

20 日(水)に各クラスで職場体験学習の振り返りと今後のクラスについてのクラスミーティングを行いました。職場体験で学んだことや自分の将来について考えたことを述べました。今後のクラスについては、学級委員長が主体となってクラスの課題を出し、それについて全体で話し合いました。ホンネで話ができる空間ができつつあり、そして、ホンネで語っても大丈夫、聴いてくれるなかまがいるという安心感が芽生えています。

<クラスミーティングの感想をいくつか紹介します。ご覧ください。>

- ・ 僕は、ミーティングを通して、将来についてみんなの前で話すことができ、自信をもつことができました。他の人の意見を聞いていいなと思いました。自分と似た意見を持っている人がいて、参考になりました。話し合う時間はやっぱり必要だなと思いました。
- ・ 私はまだ将来のことがはっきり決まっていらないけれど、「こんな人になりたい」「こんなことをしてみたい」と先のことを少しでも考えてみるのが、自分の将来につながるのだと思います。だから、広い視野で物事を見て「いいな」と思ったことは積極的に挑戦して、自分の未来につなげていきたいです。
- ・ ミーティングを終えて思ったことがあります。それは、自分の意見をみんながしっかりと受け止めてくれていることです。自分が発表するときにみんなの姿勢が変わり真剣に聞いてくれました。
- ・ クラスの課題は「言葉遣い」という話になりました。それをテーマにクラスみんなで一人ひとりの意見を聞き、自分の意見を伝え、みんなもつと気持ちの良いクラスにしたいという想いが一つになるととても良い機会になりました。

10 月より「ハンセン病学習」スタートします!

保護者のみなさま、突然ですが「ハンセン病」とは何かご存じでしょうか?その昔、移りやすい病気だと恐れられ、1931 年に「^{らい}癩予防法」を制定し、隔離政策を日本政府は行いました。その後、確実に治る治療薬ができ、患者に投与し病気は治りました。しかし、1996 年に「^{らい}癩予防法」が廃止されたにもかかわらず、ハンセン病回復者が故郷に帰れなかったり、ホテルでの宿泊を拒否される問題があったり、理不尽な差別は続きました。私たち 2 年団教員は、この現在にも残る差別について、子どもたちと一緒に認識を深め、これからの時代を担う若い人たちにどうアプローチしていく必要があるのかを考えていきます。その隔離された療養所がこの香川県にもあり、10/2(月)に教職員と代表生徒がそこを訪れ、現地の方からお話を伺います。また、一連の授業の中で、ハンセン病回復者の方と最も深く接してこられた方から生徒にお気持ちを話していただく時間も計画しています。11 月の初旬にハンセン病学習のすべてを終える予定です。その際には、ぜひともご家庭でお子さまとお話しいただけたらと思います。

<お知らせ>

- ・ 9/30(土)は授業公開日ですので、10/2(月)は振替休業日となります。
- ・ 27 日(金)は先生方の研究大会のため、給食なしの 3 時間授業となります。なお、下校時刻は 11:40 で、部活動も全面中止です。午後からのご家庭での過ごし方にご協力ください。